

株式会社 JMC、ハイパワーCT 装置を国内初導入

2015年4月にCT スキャン事業を開始

～GE (General Electric) 社製 第3世代CT 装置 " phoenix v|tome|x c "で
航空・宇宙及び防衛分野で求められる厳しい品質保証体制を実現～

最先端の3Dプリンター事業と、伝統的鋳造事業を展開している株式会社 JMC (本社：神奈川県横浜市港北区新横浜、URL：<http://www.jmc-rp.co.jp/>、代表取締役：渡邊大知) は、航空・宇宙及び防衛分野参入への主要拠点である飯田コンセプトセンター (長野県飯田市川路) に、GE 社製の第3世代CT装置『phoenix v|tome|x c (フェニックス ヴィトム エックス シー)』を国内初導入し、2015年4月からサービスビューローとしてCTスキャン事業を開始します。

最新鋭のCTスキャナの導入によって、自動車や航空宇宙分野で求められる厳しい品質保証体制を実現し、「JIS Q 9100 (航空・宇宙・防衛品質マネジメントシステム)」の取得に向けた動きを加速させると共に、デザイン・研究開発を含めた世界最先端のものづくりを推進していきます。

導入設備概要

■CT スキャンとは

X線を使って製品を断層撮影することで、内部状態を評価することが出来ます。高速スキャンによる欠陥検出から、高精細スキャンによるリバースエンジニアリング、スキャン後の3Dプリンター出力まで目的に応じて多彩な利用方法があります。

■設備について

GE社製 第3世代CT装置 phoenix v|tome|x c



GE
Measurement & Control

VDI 2630 1.3 / ASTM E 1695 規格適合機種
最大X線出力：450 kV (ミリフォーカス用)
撮影サイズ：φ 500 mm x 1,000 mm, 50 kg
検出器：ラインセンサ (検出サイズ:幅 820 mm)
フラットパネルディテクタ (検出サイズ:X*Y 400 mm*400 mm)

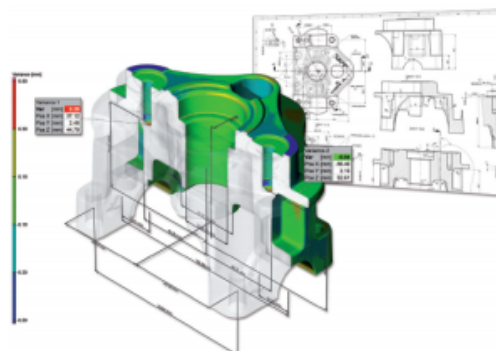
日本国内で初導入となる、この装置は3次元による非破壊検査や自動車業界、航空宇宙産業、または電力産業への鋳造品の品質保証に特化しており、半自動化された3次元非破壊検査と3次元計測によりこれらを可能にします。



サービス概要

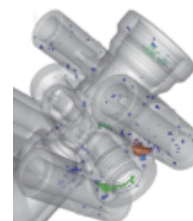
■CT スキャン事業概要

最新鋭の CT スキャナの導入により、2015 年 4 月より CT スキャン事業を開始し、自動車や航空宇宙分野で求められる厳しい品質保証体制を実現します。また、年々高まる CT スキャン需要に応えるため、スキャンによる製品評価だけでなく、3 次元データの活用も含めた高度なサービスを提供します。



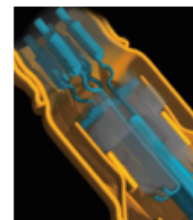
① 内部品質の確認

新しいタイプの検出器であるフラットパネルディレクタ（FPD）を使用することにより、数分～数十分という極めて短時間でクラックや鋳巣、中子ズレなどの製品の欠陥を検出することが可能です。



② 複雑形状のスキャンング

FPD を用いた高速スキャンの他にラインセンサを搭載することで、より精密なスキャンングも可能となり、製品解析や 3D デジタルモデルの作成などの需要に応えます。



株式会社 JMC 会社概要

- ・社名：株式会社 JMC
- ・HP：http://www.jmc-rp.co.jp/
- ・本社所在地：〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-5 住友不動産新横浜ビル 1F
- ・代表者：代表取締役 渡邊大知
- ・事業内容：3Dプリンター出力事業、鋳造事業、医療モデル受託開発・製作事業

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

(プレス窓口) TEL: 045-477-5757 FAX: 045-471-5270 E-MAIL: jmc ltd@jmc-rp.co.jp